

議会報告会結果報告書

日程： 11 月 12 日

会場：中央公民館及び
オンライン会議システム「Zoom」

当日質問

No.	市民の意見(質疑)	議会の意見(回答)
	市立病院について。直営のままで大丈夫か。宝塚市単独でやっていけるのか。 一日の入院患者を270人から320人にするというが、それができないから赤字が続いている。策を練らないで経営改善というのはお粗末。	債権管理に関して、市民病院からクリニカルパス(入院から治療までの計画書)の見直しにより入院単価の大幅改善ができてるとの報告。単独でやっていけるとのこと。 川西市、西宮市、伊丹市はそれぞれ統合している。 市民の不安は理解する。 令和4年度は一般会計の退職手当調整額(約8億)を一括で支払われた事が大きい。それがなければ実質資本不足が生じていると考えられる。 議会としても、このことをしっかり踏まえながら、今後も話し合っていく。
	クリーンセンターにかなりの一般財源が使われる。 市民生活に影響はないのか。収入は増えず支出だけ増えたらどこかに歪みがでないか。	整備事業費の財源内訳は、約30パーセントは国からの交付金で、約129億円が出る。 起債が約285億円で、全体の約6割。起債は借金であるが、平均すると年間9億5000万円の返済になり、それほど多くの負担にはならない。 残りは一般財源だが、約48億円は用意できる。 又、クリーンセンターへの収入も入ってくる。アルミなどのリサイクル収入が年間6000万円、売電収入も2億円くらい見込む。 大きな負担にならないよう財源構成を考慮しての市の決断ということで、議会も可決した。
	教育委員の同意について、1名が反対した理由は。	委員会報告書に反対討論が書かれている。教育委員の選定にあたって、候補者の活動履歴や教育に関する思いが参考資料として提出された。それを見て、資料だけでは人物が判断できないという理由で反対だった。